



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10)

例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

令和5年6月20日(火) 第3019回 例会(本年度第35回)

7月4日(火)	2023-2024年度 第一例会 新会長年度目標表明
7月11日(火)	お盆休会
7月18日(火)	移動例会(夜例会)
7月25日(火)	各委員会活動計画



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎<https://www.tsuruokarc.org/>

会長挨拶

会長/西川 富美子

本日、通常例会の最後の会長挨拶となります。昨年7月5日に1回目の例会から、来週の最終例会まで移動例会も合わせ36回の例会を行いました。欠席することなく皆出席と所信表明致しましたが、4回欠席し、佐々木副会長に代理をお願い致しました。まだ、コロナが落ち着いた状況でしたが、中止することなく例会を開催することができました。

また、新しい会員さんとして近藤さん、朴さん、佐々木さん、菅野さん、加藤静香さんご加入頂き、少ない会員数という事情の中ではありますが入会後すぐにSAAなど担当をこなしていただきましたことに感謝申し上げます。

更に、佐藤孝子ガバナー年度の地区大会開催に当っては、第2グループの皆様のご協力と会員一同の団結で無事に終了できましたことにも、重ねてお礼申し上げます。

地区大会では準備に奔走しましたが、色々な経験をさせて頂きましたことは良い思い出となりました。私は、2005年に入会し18年となりましたが、当初は本業が忙しくほとんど例会には出席できずにおりました。年々少しずつ出席日も増え10年前の2013年に当時在籍の阿部純次さんの会長の時に幹事を仰せつかり、10年後の今年度会長をさせて頂きました。

ロータリーでは依頼されたら断らないと聞いていましたが、10年間断り続けてきた会長も終わりとすると皆様にご迷惑をお掛けしましたが、受けてよかったと振り返っています。

色々目標に掲げた中のもう一つに、会長報告はロータリーについてお話ししますと掲げ例会時には少しずつですがお話しさせて頂きました。

最後となりますが、今月はロータリー親善活動月

間です。国際親善と善意の重要性を認識して親睦活動への参加の増加とプログラムに対する理解を促進するため、RI理事会によってロータリー親睦活動月間として指定されています。ロータリーの会員同士の友情、友愛を育むための親睦活動を推進することを奨励しています。今年度は、地区大会、鶴岡西、東南クラブさんとの交流など、更に多くのロータリアンとのつながりが出来たことが、出会いと親睦というロータリーの目的の一つとして皆様と共に時間を共有できましたことは幸いでした。

ありがとうございました。



米山功労感謝状が佐藤孝子さん、榎本久静子さんへ贈られました。



出席報告

会員数	23名
出席	15名
出席率	68.19%
前々回確定出席率	59.10%

■RI会長 ジェニファー E. ジョーンズ

■地区ガバナー 佐藤 孝子

■会長/西川富美子 ■副会長/佐々木仁道 ■幹事/高橋弘美 ■会長エレクト/富田喜美子
■会報委員会/菅原成規・佐藤友行・富田喜美子

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

歯とその疾患について

迎田歯科医院 院長 迎田 健君

私はこれまで2度ほどスピーチをしたことがあります。歯医者さんが歯のことを話すのもありきたりのような気がして、遺伝子とかの話をした記憶があります。今回プログラム委員の榎本さんより歯についてのお話のリクエストがありスピーチさせていただきます。



まず、ひとの歯の成り立ちからお話します。ひとはサル、霊長類の一種です。霊長類の特性はいろいろありますが、ひとつにえさ、食べ物を手で持って口に運んで食べるというのがあります。それぞれの霊長類はいつも食べているえさ、主食に合っている手のかたちと歯の構造を持っているということです。

ではひとの主食とは何でしょうか。といっても現代の人間ではなく約400万年前にアフリカでジャングルの木からおりてサバンナの平原で二足歩行をし始めたばかりのひとの主食です。いろいろな説がありましたが、最近言われているのは肉食動物が食べ残した動物の死体だったということです。ひとが他のサルに比べて肉をたくさん食べるし、大好きなのはもちろんですが、最初から狩りをできたはずはありません。

ここでひとの手のはなしになりますが、ひとが手でもつのはどういうかたちのが自然でしょうか。一番しっかりとぎれるのは自動車のハンドルや体操の鉄棒くらいの太さの棒状のもの、また野球のボールかそれ以下の球状のものです。

さて、極初期のひとが動物の死体を食べたといってもそれは肉食動物に食べられてほとんど骨ばかりになっていたはず。それを手で持って岩に叩きつけて割って中の骨髄を食べた、あるいは手頃な石で骨をたたき、くっついてる肉を食べるを繰り返して今のような手のかたちになったということです。

ようやく歯のはなしになります。歯の外にでている部分はエナメル質というものに覆われています。これはひとの身体の中で最も硬いものでその硬さは水晶に匹敵します。そのエナメル質がひとではとても大きく厚くなっています。それは初期の人類が長い間骨混じりの肉を咀嚼して食べて栄養にしていたためと言われています。現代の人間がほとんどの動植物を食べられるのも歯に強大なエナメル質を備えているためといっても過言ではありません。

そのエナメル質が虫歯で穴が開いてしまうのはなぜでしょうか。それは虫歯の原因となる菌が歯に巣をつくるからです。虫歯の原因となる菌は、ほとんどの人の口の中にいる常在菌ですが、歯についている食べかすのなかの糖を利用して歯に巣を作り歯に

くっつきます。それが歯垢というものでバイオフィルムともいいます。その中で虫歯菌は酸を精製してその酸によって硬いエナメル質を溶かしてしまうのです。バイオフィルムの状態になると容易にはがれなくなるので、その前につまり食べたら直ぐに歯を磨きましょう。

もう一つの歯の疾患に歯周病があります。これは歯の根の部分に歯垢より硬くなった歯石がつくことによって歯茎と歯を支えている骨がやられてしまう疾患です。歯を失う原因の大半が歯周病です。最近よくマスコミに取り上げられているのでご存知でしょうが怖いのは歯周病の全身への影響です。歯周病というのは口中にある慢性的炎症なので、その膿や菌が唾液や血液をかいして全身疾患に影響を及ぼすのです。脳卒中や糖尿病、冠動脈心疾患などが言われています。しかし考えてみますと、ひとの歯肉の面積は大体手のひらと同じくらいといえます。それが菌に感染してじくじく膿や血がでているのです。口の中では唾液に流されて目立ちませんが、それが身体の別の部分例えばお腹やお尻にあったらこれはヤバいと思うでしょう。歯周病は目立ちませんが危険な疾患なのです。

いずれにしても歯と口腔内の疾患の原因はほとんどが歯についている汚れです。食べたら歯を磨く習慣はもちろん大事ですが、汚れが残っていないか、疾患の兆候はみられないか年に一度は歯科の健診をお勧めします。



😊 スマイル

- 西川富美子君 迎田先生ありがとうございました。第一ホテルさんでの例会は私年度の最後となりました。会員の皆様、ホテルの皆様本当にありがとうございました。
- 菅野 秀綱君 停電お詫び申し上げます。迎田先生ありがとうございました。
- 加藤 静香君 迎田先生のお話とても楽しかったです。虫歯になる仕組みなどもわかり、歯ブラシで汚れを落とすことの大切さがよくわかりました。お昼は磨かなかったのですが、今日から磨きます。
- 近藤 司君 誕生日プレゼントありがとうございました。健康に気をつけて生活していきます。
- 榎本久静子君 迎田先生ありがとうございました。6月4日虫歯予防デーの月なので歯の話のリクエストをしました。米山功労感謝状ありがとうございました。
- 佐々木勝也君 迎田先生歯についてのスピーチありがとうございました。3食後歯磨きをしています。間食の後はしたことがありませんでしたので今後は間食後もしっかり予防に努めたいと思います。
- 上野 欣一君 迎田先生歯の治療について勉強になりました。ありがとうございました。
- 佐藤 孝子君 地区大会特集号が出来ました。皆様にご協力頂き最高の思い出になりました。ありがとうございました。